

ノッティングヒルの恋人

Notting Hill

観賞日 2019・5・13

制作 1999年 英
監督 ロジャー・ミッシェル
脚本 リチャード・カーティス
音楽 トレヴァー・ジョーンズ
撮影 マイケル・コールター
出演 ジュリア・ロバーツ (アナ・スコット)
ヒュー・グラント (ウィリアム・タッカー)

上映時間 123分



【あらすじ】

ロンドン市西部、ノッティングヒル。ウィリアム・タッカーは当地で旅行専門書の書店を開いている。彼はバツイチの中年男であるが楽しい仲間と囲まれて愉快地暮らしていた。ある日、そこにハリウッドの大女優アナ・スコットがやって来る。アナは店を出た後、偶然タッカーに再会、別れ際にタッカーにキスをする。

その後、ロンドンにやって来たアナは宿泊しているホテルにタッカーを招待、タッカーはその晩に予定していた妹の誕生会にアナを招く。パーティで始めた不幸ゲーム。美人で大女優のアナにもあった不幸の数々。アナの昔の恋人とタッカーとの鉢合わせ。タッカーの同居人によるマスコミ通報等が原因となり、ケンカ別れする二人。

やがて、オスカー女優になったアナは仕事で来たロンドンでタッカーに再会。翌日、タッカーの許を訪ねたアナはタッカーにある提案をするがタッカーはNOを告げる。仲間から意見され、間違いに気づいたタッカーは帰国するアナを追いかけるが・・・。

名作、「ローマの休日」を想わせる、ハリウッド女優としがらないバツイチ男の大人のラブ・ストーリー。

コメディタッチで描く、「ロンドンの休日」

【解説】

■ポイント

●主役二人の素敵なラブ・ストーリー

★ジュリア・ロバーツ (1967年アメリカ、ジョージア州生まれ)

「プリティ・ウーマン」(1990年) が出世作

「エリン・ブロコビッチ」(2000年) でアカデミー主演女優賞受賞

★ヒュー・グラント (1960年イギリス、ロンドン生まれ)

ロマンティック・コメディの主演が多く「ロマンティック・コメディの帝王」とよばれている。

★しゃれた会話、絶妙なタイミングで入る邪魔

■見どころ

●ラストのメディア会見シーン

ほろっとさせる名セリフ。追いかける、Sheのメロディー

「ローマの休日」とは異なる結末

●不幸ゲーム

各自が自分の不幸な点を話し、最も不幸な人が勝利する